

県民の皆様へ

新型コロナウイルスを取り巻く環境は刻一刻と変化しており、感染者数は世界で50万人を超え、10万人に達するまでは60日以上かかっていましたが、ここ数日は1日あたり感染者数が約5万人となるなど、爆発的なペースで拡大しています。

国内においても、東京都における感染者数の急増のほか、千葉県の障害者福祉施設における国内最大規模のクラスター（患者集団）の新たな発生、感染経路不明の感染者の増加など、爆発的な感染拡大を伴う大規模な流行につながりかねない「瀬戸際」の状況が続いています。

本県の新型コロナウイルス感染症の陽性患者はこれまで9名で、感染経路も特定できており、現在、感染状況は一定程度に収まっていると考えられます。これは県民の皆様への感染拡大防止へのご協力の賜物であり、改めて感謝申し上げます。

しかしながら、国内外の状況に鑑みれば、全く予断を許さない状況が続いています。国の専門家会議においても、「我々が今日見ているデータは、その2週間前の新規感染の状況を捉えたものである」との見解が示されており、感染経路不明の患者増加による爆発的な感染拡大を食い止めるためには、この重大局面に対し、県をはじめ、企業、市町、関係機関・団体、そして県民の皆様と強い危機感を持って感染防止対策に一致団結し、「オール三重」で取り組んでいかねばなりません。「自粛疲れ」やストレスを感じておられる方もおみえかと思いますが、警戒を緩めてしまえば、感染拡大につながるおそれがあります。県民の皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご自身の健康を守るため、大切な家族や友人の健康を守るため、引き続きご理解ご協力をお願いします。

3月27日には、首都圏の感染状況や、進学や就職のシーズンを迎えることをふまえ、首都圏等への不要不急の外出の自粛や感染防止対策の徹底等について、県民の皆様へ呼びかけさせていただきました。しかしながら、3月29日時点で、東京都430名、大阪府208名、北海道176名、愛知県167名、兵庫県133名、千葉県106名、神奈川県127名、埼玉県84名など、8都道府県においては50名を超える多くの方の感染が確認されるとともに、直近の先週末にも複数の感染者が判明し、感染経路の不明な方もおり、感染リスクが非常に高まっている状況が続いています。今週は、新年度のスタートにあたり、進学や就職、人事異動などによる都市部と地方部の往来が増えたり、新たに開始されたりする時期であることから、改めて、8都道府県への不要不急の出張や訪問等は自粛をいただきますようお願いいたします。通勤等により、これらの地域に移動する必要がある場合であっても、テレワーク、時差通勤、在宅勤務などの多様な手段の積極的な活用で代替できないかをまずご検討いただくとともに、いわゆる「3つの『密』（密閉・密集・密接）」を徹底的に回避するなどの感染予防対策の徹底をお願いいたします。

他県では、東京都から帰省された方について、新型コロナウイルスの感染が確認される事例も発生しています。東京都をはじめ多くの感染が確認されている都道府県から三重県に帰省される方や新たに三重県に転勤等で転入される方、あるいは海外から帰国された方については、特に不要不急の外出を控えることをお願いするとともに、ご自身の健康管理を徹底していただき、少しでも体調に不安を感じた際は、早急にお住いの「帰国者・接触者相談センター」にご相談をお願いいたします。新たに三重県で生活をスタートされるということで戸惑いもある方もおみえの中、このようなお願いをして大変恐縮ですが、今後三重県で安心した生活を送っていただくために私達は皆さんと力を合わせたいと思います。

また、他県において、大学生の方の感染も相次いで確認されています。学生等の皆さんにおかれましては、学

校等の休業期間中で、時間的余裕もあろうかと思いますが、他県でも、夜間の外出や集団行動なども見られており、若い方は無症状や軽症も多く、自覚のないままに他の方に感染させてしまうこともあり得ることから、感染拡大防止の観点から、より一層、慎重な行動を取っていただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症は、いつ、どこで、誰が感染するか、わからない状況です。県民の皆様におかれましては、引き続き、人混みへの不要不急の外出の自粛へのご協力に加えて、手洗いや咳エチケット等の徹底とともに、集団感染を防ぐため、「換気の悪い密閉空間」、「人が密集している場所」、「近距離での密接な会話」の三つの条件を避ける行動の徹底を強く求めます。また、感染者、濃厚接触者やその家族、感染症の対策や治療を行っていただいている医療従事者の方とそこにご家族に対する偏見や差別につながるような行為は絶対にしないよう、お願いいたします。

3月28日には、国の対策本部の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」により、感染拡大の防止や医療提供体制等について示されるとともに、安倍総理の記者会見では緊急経済対策の策定について発表がありました。県としても、県民の皆様の安全・安心を守るため、PCR検査の体制の充実や医療提供体制の整備、マスクや消毒液等の確保に向けた取組等を進めるとともに、先程対策本部において指示したとおり、国の緊急経済対策などの機会も活用し、中小・小規模事業者の皆様の実業継続と雇用、そして県民の皆様の暮らしを守りぬくため、県として追加の経済対策の策定を進め、刻一刻と変化する状況の中でも、迅速かつ適切に全力で取り組んでまいります。

繰り返しになりますが、県民の皆様に、引き続きの御協力をお願いいたします。

令和2年3月30日

三重県知事 鈴木 英敬